

 点滴療法研究会



点滴療法研究会

年次報告書

2016
Annual report

御挨拶

設立10周年を迎えて



会長 柳澤 厚生
Atsuo Yanagisawa, MD, FJCIT
スピックサロン・メディカルクリニック理事長

点滴療法研究会マスターズクラブは、2016年に創立10周年を迎え、正会員と企業会員を合わせて700名以上の組織に成長しました。私たちは、がんや慢性疾患の統合医療における日本のリーダーとして、確固たる地位を築いています。私は会員諸氏の力が結集され、ここまで大きく成長したことに強く感動しています。

2016年はアジアで初めて米国オゾン療法学会認定マスタートレーニングコースを開催しました。米国で開催された国際シンポジウム「ビタミンCと慢性疾患」では、点滴療法研究会の会員ネットワークを成功モデルとして、世界規模のネットワーク構築が各国に提唱されました。歯科医師部門も益々充実し、正に飛躍の1年でした。

私たちは次の10年の目標として、「ニューエイジ・メディスン(新しい時代の医療)の確立」を掲げます。その第一歩として医師部門と歯科医師部門の充実を図り、新たに獣医師部門を発足するため、2017年に以下の三つの計画を実行します。

- (1) リオルダンクリニック IVC アカデミーのアジア初開催(9月23日)
- (2) 医師と歯科医師のための実践セミナー開催(6月18日)
- (3) 獣医師向けセミナーの開催(9月3日)

私たちは常に会員諸氏と共に歩んで参りますので、ご指導をお願い申し上げます。そして、会員諸氏が素晴らしい2017年を迎えられますよう祈念しています。

最先端の臨床予防医療専門家を育成する

事務局長 上符 正志
Masashi Uwabu, MD
銀座上符メディカルクリニック院長



昨年12月にラスベガスで開催された米国抗加齢医学会の講演初日のグランドセッションはマイクロバイオームがテーマでした。人体に共存している細菌等により我々の健康状態は大きな影響をうけている、むしろ細菌叢の管理下に体がおかれているという内容です。今後の予防医学の新しいテーマと考えます。

日本でも腸内フローラ、腸内環境など予防医学に関連するテレビ番組や書籍が次々に刊行されています。これは心と体の最高の健康状態を保つための医学知識を一般の方がいかに必要としているかの裏付けといえるのかもしれません。

臨床予防医学の目的はただ寿命を延ばすだけの延命医療ではなく、自分の意志で身体を最後まで上手に使いこなすこと、そのお手伝いをする事だと思えます。自分の健康は家族の健康と同じです。病気は自分だけの問題ではなく、大切な家族の時間を奪い、老化を加速させます。

点滴療法研究会の大切な役割はより多くの臨床予防医療の専門家を育成し、最先端の予防医学知識をもっと分かりやすく普及させていくことだと考えています。

海外ボードメンバーより御挨拶

新しい医療の流れを創造する
ニューエイジ・メディスン

トーマス・レヴィ
(アメリカ)
コロラドスプリングス記念病院
心臓専門医・弁護士



点滴療法研究会が10周年を迎えたことを、心からお祝い申し上げます。ボードメンバーとして貴会に関わることはとても誇りに思います。

点滴療法研究会が次の10年に掲げるスローガン「ニューエイジ・メディスン」は、柳澤会長のリーダーシップのもとで人々の健康を守る新しい医療の流れを創造することでしょう。会員の皆様と一緒に歩めることを心から嬉しく思います。

親愛なる点滴療法研究会の先生方へ

ロナルド・ハニハイキ
(アメリカ)
リオルダン・クリニック所長



親愛なる日本の点滴療法研究会の皆様にご挨拶申し上げます。成長し続ける貴会の創立10周年を、高濃度ビタミンC点滴療法を実践に取り入れられている先生方と共に祝えることを嬉しく存じます。私はリオルダンクリニックの所長として、世界中に貴会のスローガンである「ニューエイジ・メディスン」を伝え、皆様と心と身体に優しい医療を人々に提供できるよう努めて参ります。

ボードメンバー

国内ボードメンバー



会長 柳澤 厚生
スピックサロン・
メディカルクリニック理事長



事務局長 上符 正志
銀座上符メディカル
クリニック 院長



阿部 博幸
アベ・診療内科・クリニック
理事長



森 吉臣
赤坂 AA クリニック
院長



水上 治
健康増進クリニック
院長



芝田 乃丞
株式会社スピック
会長



澤登 雅一
三番町さげん
クリニック 院長



古山 登隆
自由が丘クリニック
理事長



高島 正広
高島クリニック
院長



平良 茂
ハートフルクリニック
院長



日比野 佐和子
Rサイエンスクリニック
院長



菅野 渉平
IVC 分析センター
指導監督医



新福 泰弘
インペリオクリニック
院長



松山 淳
松山医院 本町
院長



田中 善
田中クリニック
院長



喜多村 邦弘
喜多村クリニック
院長



有馬 征志
アステック・歯科
院長

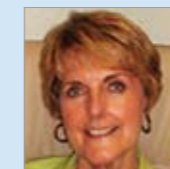
海外ボードメンバー



イリエス・バグリ
(アルジェリア)
アルジェリアオゾンモレキュラー
医学会会長



バートン・パークソン
(アメリカ)
ニューメキシコ統合医療
センター所長



アイルン・ポード・メイ
(カナダ)
元トロント総合病院コナッハ
頭頸がん研究所部長



スティーブン・カーター
(カナダ)
国際オゾンモレキュラー
医学会事務局長



ダミアン・ダウニング
(イギリス)
英国環境生物医学会
会長



ジェームズ・グリムシャ
(アメリカ)
ウォルデン行動医療病院
摂食障害部門部長



ロナルド・ハニハイキ
(アメリカ)
リオルダン・クリニック
所長



スティーブ・ヒッキー
(イギリス)
オゾンモレキュラー
医学会編集委員



ジョン・ホフナー
(カナダ)
マギル大学
内科教授



マイケル・ジャンスン
(アメリカ)
米国先端治療会議 ACAM
元会長



トーマス・レヴィ
(アメリカ)
コロラドスプリングス記念病院
心臓専門医・弁護士



劉 輝雄
(台湾)
インペリアルクリニック
院長



ロベルト・オルティス
(メキシコ)
メキシコオゾンモレキュラー
医学会会長



ニール・リオルダン
(アメリカ)
ステムセル研究所
所長



アンドリュー・W・ソウル
(アメリカ)
オゾンモレキュラー医学
ニュース編集長



ガート・E・シュートメーカー
(オランダ)
前・国際オゾンモレキュラー
医学会会長
医学雑誌 ORTHO 編集長



フランク・シャレンバーガー
(アメリカ)
米国オゾン療法学会
会長



ウェルマン・シュレーダー
(アメリカ)
サンタフェアレルギー
環境医療センター所長



ブラッドフォード・ウィークス
(アメリカ)
ウィークス・クリニック
院長

国際活動

- 1月 【アルジェリア:アルジェ】「アルジェリアオーソモレキュラー医学会」にて講演
- 2月 【米国:ダラス】「第5回米国オゾン療法学会年次学術総会」出席
- 3月 【ロシア:モスクワ】「ロシア国立健康長寿科学アカデミー」にて講演
- 4月 【エクアドル:キト】「第7回世界神経治療会議」にて講演
【カナダ:バンクーバー】「第45回国際オーソモレキュラー医学会」出席
- 6月 【オーストラリア】「国際会議:がんの統合医療における最近の進歩」にて講演
(21日メルボルン/23日シドニー)
- 10月 【米国:カンザス】「IVCシンポジウム」にて講演
- 11月 【台湾:台北】「台湾オーソモレキュラー栄養医学国際セミナー」にて講演



3月 モスクワ市内にて



4月 国際オーソモレキュラー医学会 (バンクーバー) にて



6月 国際会議 (メルボルン) 講演者との会食にて

トピックス

アルジェリアでの活動

アルジェリアオーソモレキュラー医学会(SANMO)は2016年1月に設立5周年を迎えました。柳澤会長は4回目のアルジェリア訪問です。柳澤会長は国際オーソモレキュラー医学会会長として招待を受け、1月22~23日の2日間に首都アルジェで行われた教育セミナーで講演し、記念式典に出席しました。記念式典では5周年のバースデーケーキをバグリ会長と柳澤会長でカットをし、出席者に振る舞われました。

学会2日目、アルジェリア国営放送の朝の生番組「ボンジュール・アルジェリア」にバグリ会長と柳澤会長が出演しました。この番組は日本のNHK番組「おはよう日本」のアルジェリア版です。オーソモレキュラー医学について、がんに対する高濃度ビタミンC点滴療法の効果、そして栄養療法がアルジェリアの国民の健康のためにいかに重要であるかを語りました。

アルジェリアオーソモレキュラー医学会は、点滴療法研究会と公式に提携し、バグリ会長ご夫妻も日本を訪問されました。今回の訪アルジェリアでは、益々の緊密な連携の約束を交わしました。

アルジェリア国営放送の生番組「ボンジュール・アルジェリア」の様子



アルジェリアオーソモレキュラー医学会の運営者・講演者との記念撮影

モスクワでの活動

3月1日に成田国際空港をエアフロートのモスクワ便に乗って、厳寒のモスクワに向かいました。今回のミッションは、ロシア国立健康長寿科学アカデミーが主宰するシンポジウムの招待講演です。

柳澤会長の講演では、始めにオーソモレキュラー医学と栄養療法について紹介、高濃度ビタミンC点滴療法・αリポ酸・マイヤーズカクテル・プラセンタなど各種点滴療法によるがん治療とアンチエイジング、グルタチオン点滴によるパーキンソン病の治療などを解説しました。ロシアではオーソモレキュラー医学そのものがほとんど知られていません。全てのスピーカーが話し終えた後、栄養療法や点滴療法の具体的な処方や適応など、たくさんの方の質問がありました。翌日にモスクワ市内のクリニックを表敬訪問した際には、クリニックスタッフがオーソモレキュラーという言葉を使って質問をしてくれました。ロシアにおけるオーソモレキュラー医学の発展の第一歩になったと確信しています。



柳澤会長の講演



ロシア国立健康長寿科学アカデミーのシンポジウム講演者との記念撮影

エクアドルでの活動

4月7日~9日に南米エクアドルのキト市で開催された第7回世界神経治療会議(The 7th Bienal Mundial de Terapia Neural según Huneke)からの招待で、柳澤会長は高濃度ビタミンC点滴療法によるがん治療とアンチエイジング、福島原発事故における被ばく傷害、そして子宮頸がんワクチン副作用の治療についてを講演。ガラディナーではフェルディナント・ピント会長より最優秀アカデミー会員賞が贈呈されました。



柳澤会長の講演



第7回世界神経治療会議の助成金賞状

バンクーバーでの活動

4月29日から3日間、「第45回国際オーソモレキュラー医学会」がカナダのバンクーバー市街中心にあるフェアモントホテルで開催されました。世界各国から約210名の医師・歯科医師・栄養士などが出席し、日本からは柳澤会長、点滴療法研究会ボードメンバーの松山淳先生ご夫妻(松山医院・群馬県)、河野和彦先生(名古屋フォレストクリニック・愛知県)、中島勉先生ご夫妻(中島医院・長野県)、金谷憲明先生(札幌麻酔クリニック・北海道)など総勢15名の関係者が出席されました。



河野先生の講演



日本からの参加者と講演者の記念写真

オーストラリアでの活動

国際会議「がんの統合医療における最近の進歩」が6月21日にオーストラリアのメルボルン、23日にシドニーで開催されました。スピーカーは基礎研究者としてフランスからジャン・クロード・ラバド博士(マイン大学元教授・薬理学)とニュージーランドからジョン・バーチ博士(ニュージーランド・フードサイエンス研究所助教授)、臨床家として米国からマイケル・シャクター博士(ニューヨーク・シャクターセンター所長)、そして日本からは柳澤会長が招聘されました。



パネルディスカッションの様子



講演の様子

カンザスでの活動

10月13日に開催された「高濃度ビタミンC点滴療法と慢性疾患シンポジウム」に柳澤会長が出席しました。3日間にわたり、かなり濃厚な講演とディスカッションが行われました。会場となったホテル・オールドタウンではリオルダンクリニックの出張診療所が併設され、参加者は高濃度ビタミンC点滴、グルタチオン点滴などを有料で受けられました。なかでもビタミンB12の筋注が大人気でした。日本ではまだなじみのない治療ですが、米国ではかなり一般的です。これから日本でも広がる予感がします。柳澤会長は被ばく対策、子宮頸がんワクチン副作用問題、点滴療法研究会ネットワークについて講演しました。



柳澤会長の被ばく対策の講演



シンポジウム参加者がリオルダンクリニック内でビタミンC点滴を受ける様子

台湾での活動

台湾では初の「オーソモレキュラー栄養医学国際セミナー」が開催されました。会長は台湾ヘルスプロモーション基金理事長の劉輝雄先生です。劉先生は台北市でクリニックの院長を務める傍ら、台湾で開催された世界人間ドック学会会長や台湾消化器学会会長を務めました。点滴療法研究会の国際ボードメンバーでもあり、カナダで開催される国際オーソモレキュラー医学会にも毎年出席されています。会場には台湾全土から多くの医師、歯科医師、看護師など栄養療法に関心のある医療従事者が出席しました。柳澤会長は開会の挨拶と「オーソモレキュラー医学における点滴療法」と題する講演をしました。会場の熱気から台湾におけるオーソモレキュラー医学への関心の高さが窺えました。



柳澤会長の講演

点滴療法研究会が米国オゾン療法学会と提携

「米国オゾン療法学会出席」 in ダラス

点滴療法研究会では米国オゾン療法医学会と提携し、会長のシャレンバーガー先生を迎えて「米国オゾン療法医学会認定マスタートレーニングコース」を日本で開催しました。このコースの開催はアジアで初めてです。柳澤会長はトレーニングコースの打合せを兼ねて、2月18～20日に米国テキサス州ダラス市で開催された第5回米国オゾン療法学会年次学術総会に出席しました。日本でオゾン療法として最も一般に知られているのは、自家血オゾン療法です。これは血液を体外に採取し、オゾンガスを加えて反応させ、その後自分のからだに戻す治療法で、血液バイタル療法、血液クレンジング療法とも呼ばれています。

総会では、点滴療法研究会の国際ボードメンバーであるハニハイキ先生（リオルダン・クリニック所長）が講演されました。ハニハイキ先生はオゾン療法によるミトコンドリアの酸素利用率の改善について注目し、がん細胞の嫌気性代謝を好気性代謝にシフトすることでアポトーシスが誘導されること、さらに高濃度ビタミンC点滴療法と併用することの相乗効果について解説、同日に実施する場合はオゾン療法を先に、続いて高濃度ビタミンC点滴療法を行うと述べられました。



講演の様子



フランク・シャレンバーガー会長
(米国オゾン療法学会会長)



講演終了後の記念撮影
(左から柳澤会長、アンドリアナ・シュバルツ先生、
シャレンバーガー会長、ハニハイキ先生)

さて、日本で米国オゾン療法医学会のマスタートレーニングコースを開催することとなったのは、ハニハイキ先生が2014年にシャレンバーガー会長を柳澤会長に引き合わせたことから始まります。シャレンバーガー会長は、かねてからアジアでトレーニングコースを開催したいと考え、2016年は日本だけでなく、インドでの開催も検討されていました。また、シャレンバーガー会長の引き合わせにより、柳澤会長はスペインオゾン学会のシュバルツ会長とも出合い、点滴療法研究会とスペインオゾン学会との相互交流を約束されました。

「今回の米国オゾン療法医学会年次総会に出席し、オゾン療法が医療の中で素晴らしい転換期に来ていると感じました。これまで培ったオゾン療法の研究がさらに進化し、現代医療の中でしっかりと大きな地位を占めることでしょう。」との柳澤会長からのコメントでした。



ロナルド・ハニハイキ先生
(リオルダン・クリニック所長)

講演会場の様子

「オゾン療法公式トレーニングコース」 in 東京

3月20～21日に米国オゾン療法学会（American Academy of Ozonotherapy）のフランク・シャレンバーガー会長を迎え、米国オゾン療法学会認定マスタートレーニングコースを東京の秋葉原コンベンションホールで開催しました。このトレーニングコースを受講し、かつ米国オゾン療法学会に入会すると、フェローの認定試験資格が得られます。すなわち、日本にいながらにして、米国学会の認定医を取得することができます。この企画は点滴療法研究会と米国オゾン療法学会の提携から生まれました。

1日目はオゾン療法の歴史（オゾンの発見、治療の歴史、マドリッド宣言）、オゾン療法の基礎（ミトコンドリアにおけるエネルギー代謝、酸素利用率と身体機能、酸素利用率と加齢・疾病、活性酸素とオゾン、オゾンとNADH/NADH比、ATP代謝、オゾンとメチレーション、オゾナイド、Nrf2と細胞保護など）、2日目はオゾン療法の適応と禁忌、自家血オゾン療法（具体的な手技、オゾン濃度、投与量など）、オゾン療法プロトコル・希釈法、高濃度ビタミンC点滴療法とオゾン療法の併用法、プレコンディショニング法



柳澤会長とシャレンバーガー会長



講演の様子

（予防への応用）、オゾン注腸法の手技とプロトコル、オゾン化オイルの作成と使用法、UBI療法（単独ならびにオゾン療法との併用）について精力的に講義をされました。

さらに、森吉臣先生（赤坂AAクリニック）が動画による具体的な血液オゾン療法の実際を解説、新福泰弘先生（インベリオクリニック）によるヨーロッパにおけるオゾン療法の現状について講演が行われ、2日間の濃厚なプログラムが終了しました。

フランク・シャレンバーガー会長は点滴療法研究会の国際ボードメンバーに就任されました。2017年7月には米国オゾン療法学会の監修で、東京にて日本人講師による2日間のトレーニングプログラムが開催されます。



参加されたボードメンバーとの記念撮影
(左から水上先生、劉先生、新福先生、森先生、シャレンバーガー会長、
柳澤会長、松山先生、平良先生)

国内での活動

- 1月 16日 「ベーシックセミナーⅠ」
17日 「ワークショップ」
- 2月 14日 「歯科医師のための点滴療法（ベーシック）」
28日 「九州フォーラム」 in 福岡
- 3月 6日 「点滴療法の基本実技講習会（入門編）」
13日 国際抗老化再生医療学会講演・出展
20日～21日 「米国オゾン療法学会認定 オゾン療法マスタートレーニングコース」
- 4月 17日 「ベーシックセミナーⅠ」
「キレーション療法認定医講習会・認定医試験」
- 5月 15日 「ベーシックセミナーⅡ」
17～18日 第104回日本美容外科学会講演・出展
22日 「関西フォーラム」 in 大阪
- 6月 10～12日 日本抗加齢医学会ミニセミナー講演・出展
26日 「点滴療法の基本実技講習会（入門編）」
- 7月 10日 「ベーシックセミナーⅠ」
- 8月 7日 「歯科医師のための実践セミナー」
- 9月 4日 「点滴療法研究会10周年記念特別セミナー第1弾」
～点滴療法研究会が考えるアンチエイジング～
25日 「点滴療法の基本実技講習会（入門編）」
- 10月 2日 市民講演会 in 福岡
22日 「ベーシックセミナーⅠ」
23日 「ベーシックセミナーⅡ」
- 11月 6日 「高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会・認定医試験」
27日 「点滴療法研究会10周年記念特別セミナー第2弾」
～「匠の技」から学ぶ複数の治療法を
組み合わせた慢性疾患の治療戦略～
- 12月 11日 「点滴療法の基本実技講習会（入門編）」



2月 歯科医師のための点滴療法（ベーシック）
講師の新福泰弘先生



3月 実技講習会
柳澤会長と点滴療法研究会山口かおる
認定講師



5月 日本美容外科学会
高須クリニック院長高須先生と記念撮影



10月 ベーシックセミナー中のアイスブレイク



11月 IVC認定医講習会
良質なタンパク質豊富なヘルシー弁当
(トータルワークアウト監修)

トピックス

1月 ワークショップ

1月17日東京で点滴療法研究会ワークショップ「現場から学ぶ点滴療法の”技(わざ)”」が開催されました。会員による講演は「私の経営戦略」「口腔内に潜む病気の原因」「自由診療クリニックの30年」「当院の線維筋痛症治療」「サルベストロールによる癌治療」「認知症・神経難病高齢者を抱える家族全員を笑顔にする GCS-VC 点滴療法」「当クリニックにおける統合医療による動物のがん治療」「腸内環境に配慮した歯周病に対する抗菌療法」「声帯炎症にどこまで効くのかビタミンC」「癌難民の希望の療法としてのVC点滴」と多彩でした。終了後に新年会を開催、和やかに歓談しました。



講演風景



セミナー後の新年会の様子

6月 日本抗加齢医学会ミニセミナー

6月にパシフィコ横浜で開催された日本抗加齢医学会学術集会で、「アンチエイジングクリニックにおける点滴療法の実践」という題目で柳澤会長が講演をしました。海外におけるアンチエイジングクリニックで点滴療法が人気となっていることを紹介。特に高濃度ビタミンC点滴、マイヤーズカクテル、ビタミンB12、アミノ酸の点滴療法が疲労回復やアンチエイジングの定番となっていることを動画とともに紹介、会場の出席者の感嘆が聞こえるほどのインパクトがある内容でした。多くの聴講者がその後、点滴療法研究会のセミナーに参加されています。



点滴療法研究会出展ブース



柳澤会長によるミニセミナー

9月 点滴療法研究会10周年記念特別セミナー第1弾

9月4日に研究会設立10周年特別企画第1弾、「点滴療法研究会が考えるアンチエイジング」を開催しました。講演は5人のエキスパートによる、それぞれの分野のアンチエイジングについて、実践的に語っていただきました。演題は「薬に頼らないうつ病治療からみた心のアンチエイジング」(千村クリニック・千村見先生)、「認知症治療はアンチエイジングで達成される〜コウノメソッド〜」(名古屋フォレストクリニック・河野和彦先生)、「歯科から始まるアンチエイジング〜小さな医院でのチーム医療〜」(森永歯科医院・森永宏喜先生)、「見た目の老化と対処法」(自由が丘クリニック・古山登隆先生)、「遅延型フードアレルギー、有害重金属、統合ホルモン検査と臨床治療」(銀座上符メディカルクリニック・上符正志先生)でした。終了後には創立10周年を祝う懇親会が盛大に行われました。



古山先生の講演



セミナー講師・座長：左から千村先生、上符先生、森永先生、柳澤会長、河野先生、松山先生

11月 点滴療法研究会10周年記念特別セミナー第2弾

11月27日に研究会設立10周年特別企画第2弾、「”匠の技”から学ぶ複数の治療法を組み合わせる慢性疾患の治療戦略」を開催しました。講演は5人のエキスパートによる、現場から生まれたノウハウを公開していただきました。演題は「水素の臨床利用と今後の展望」(辻クリニック・辻直樹先生)、「点滴療法と栄養療法を組み合わせる慢性疾患の治療戦略」(点滴療法研究会・柳澤厚生会長)、「循環腫瘍細胞検査からみたがん治療の提案」(喜多村クリニック・喜多村邦弘先生)、「高濃度ビタミンC点滴と免疫療法」(健康増進クリニック・水上治先生)、「がん治療に高濃度ビタミンC点滴を中心とした個別化・複合統合医療」(赤坂AAクリニック・森吉臣先生)でした。



出展企業ブースの様子



懇親会の様子

地方フォーラム開催 (福岡・大阪)

九州フォーラム in 福岡

2月28日(日)に第1回点滴療法研究会九州フォーラムが喜多村邦弘先生(喜多村クリニック)、上田倫生先生(上田歯科医院)の世話人により、JR博多シティの会議室で開催されました。ほぼ満席の会場で行われた講演会は、「ビタミンCのワンショット静注”IV-PUSH”」(柳澤厚生会長)、「循環腫瘍細胞検査からみた、がん治療の提案」(喜多村邦弘先生)、「歯科領域と全身状態を管理する〜歯科予防プログラムと抗酸化の検証〜」(上田倫生先生)、「高濃度ビタミンC点滴の実績と症例」(さくらクリニック・堂園貞巳先生)、「当院のパーキンソン病治療」(かたやま脳外科内科クリニック・片山成二先生)、「開業医からの発信〜もしかして知って得する研究結果〜」(中島こうやクリニック・中島孝哉先生)、「クリニック経営とマーケティング」(統合医療ハートフルクリニック・平良 茂先生)と、現場からの実践的な内容でした。素晴らしい講演から刺激を受け、フォーラム後の懇親会も大いに盛り上がりしました。



九州フォーラムの様子

関西フォーラム in 大阪

5月22日(日)に第1回点滴療法研究会関西フォーラムが田中善先生(田中クリニック)の世話人により、TKP ガーデンシティ東梅田で開催されました。講演プログラムは、「ビタミンCのワンショット静注”IV-PUSH”」(柳澤厚生会長)、「第二世代 GcMAF と初乳 MAF 免疫療法」(医療法人再生未来・乾利夫先生)、「歯科で行う重金属除去の実践」(並河歯科クリニック・並河勇人先生)、「パーキンソン病関連疾患と歩行障害系認知症の GCS 点滴療法〜コウノメソッドを進化させたグルタチオン〜」(アクアメディカルクリニック・石黒伸先生)、「当院でがん患者さんに対する取り組み」(田中善先生)、「頭皮鍼(YNSA)を用いたアプローチ」(鳥居医院・鳥居裕一朗先生)、「開業医から見た医療ツーリズム」(高島クリニック・高島正広先生)で、実践的かつ個性的な素晴らしい講演会となり、多くの質疑応答がありました。



関西フォーラム講演者：左上から柳澤会長、高島先生、田中先生、鳥居先生、石黒先生、乾先生、並河先生

「Newsweek」へ掲載される

注目の“がん治療”とは？

高濃度ビタミンC点滴療法について、柳澤厚生会長のインタビュー記事がニューズウィーク日本版(2016年9月6日号)に掲載されました。表題は「高濃度ビタミンC点滴を中心とした注目の“がん治療”とは」とし、高濃度ビタミンC点滴を「がんの低侵襲治療」として紹介しています。また、米国・カナダ・日本で行なわれている臨床試験と共に、点滴療法研究会が実施した多施設共同試験も紹介しています。これまでのメディアが高濃度ビタミンC点滴を民間療法のごとく扱っていたのとは一線を画し、最先端の治療として取り上げ、さらに点滴療法研究会の全国ネットワークまで紹介しています。オーソモレキュラー医学ニュースサービスを始めとするウェブニュースで配信され、高濃度ビタミンC点滴療法を導入している各国の医療機関のニュースレターなどにも取り上げられました。



ニューズウィーク表紙



ニューズウィーク記事

2017年点滴療法研究会実践セミナー年間予定

1月14日(土) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナーI

点滴療法の基本「グルタチオン点滴療法」、「マイヤーズカクテル」など点滴療法の具体的な処方と注意点を詳しく解説します。セミナー受講後、点滴療法研究会マスターズクラブへご入会いただきますと、入会特典として「Q&A サポート窓口」にて、点滴療法を導入できるようになるまでサポートします。尚、ベーシックセミナーI・IIを受講し、会員となった方は高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習・認定医試験を受けられます。

【講師】 柳澤 厚生先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
喜多村 邦弘先生 (喜多村クリニック 院長)

1月15日(日) ベルサール三田 (東京)

ワークショップ

点滴療法研究会マスターズ会員医師・歯科医師10名による、診療現場での技術・治療・症例などを発表。別会場にて新年会を開催いたします。

2月5日(日) ベルサール三田 (東京)

歯科医師のための点滴療法 (ベーシック)

【講師】 新福 泰弘先生 (インペリオクリニック 院長)
柳澤 厚生先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)

3月5日(日) ベルサール三田 (東京)

【会員限定】キレーション療法認定医講習会・認定医試験

キレーション療法は心臓病や動脈硬化の治療、環境汚染や食品添加物に対するデトックス療法として注目されている点滴療法です。点滴療法研究会ではキレーション療法認定医制度を設けています。3月に開催される本講習の受講及び所定教材(DVD付)にて事前学習することにより認定試験を受験できます。

【講師】 上符 正志先生 (銀座上符メディカルクリニック 院長)
柳澤 厚生先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)

4月15日(土) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナーI

1月14日(土)「ベーシックセミナーI」参照

4月16日(日) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナーII

ベーシックセミナーIを学ばれた先生に是非、受講していただきたいセミナーです。Detox・IGG、栄養療法、プラセンタ、にんにく注射、αリポ酸他、最新の点滴療法に関連する栄養療法と共に深く実践的に学びます。尚、ベーシックセミナーI・IIを受講し、会員となった方は高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習・認定医試験を受けられます。

【講師】 上符 正志先生 (銀座上符メディカルクリニック 院長)
松山 淳先生 (松山医院 院長)

5月21日(日) ベルサール三田 (東京)

点滴療法研究会10周年記念特別セミナー 第3弾 「アンチエイジングのスペシャリストから学ぶホルモン療法」

【講師】 上符 正志先生 (銀座上符メディカルクリニック 院長)
藤森 徹也先生 (オルソクリニック銀座 院長)

6月18日(日) ベルサール三田 (東京)

医師と歯科医師のための実践セミナー

【講師】 有馬 正志先生 (アステック歯科 院長)
田中 善先生 (田中クリニック 理事長・院長)
有馬よう子先生 (アステック歯科 栄養医学指導者・栄養療法カウンセラー)

7月2日(日) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナーI

1月14日(土)「ベーシックセミナーI」参照

7月16日(日)・7月17日(月・祝) ベルサール三田 (東京)

米国オゾン療法マスタートレーニングコース2日間

【講師】 柳澤 厚生先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
森 吉臣先生 (赤坂腫瘍内科クリニック 総院長)
新福 泰弘先生 (インペリオクリニック 院長)
松村 浩道先生 (江ノ島弁天クリニック 院長)

8月6日(日) スピックサロン・メディカルクリニック (神奈川県鎌倉市)

点滴療法の基本実技講習会(入門編)

点滴療法を導入していただくための前準備・セッティング・穿刺・抜針等、基本手技について、充実したオリジナルテキストや静脈採血型を使用して実技を学びます。①採血・点滴の基本知識 ②静脈採血 ③翼状針・留置針による点滴の実際 ④ビタミンC点滴(25g)の体験 ⑤Q&A

【講師】 柳澤 厚生先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
山口 かおる先生 (スピックサロン・メディカルクリニック 看護師長)

9月3日(日) ベルサール三田 (東京)

獣医師向けセミナー

【講師】 柳澤 厚生先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
廣田 順子先生 (アリスどうぶつクリニック 院長)
鈴木 つば美先生 (みなせ動物病院 院長)

9月23日(土) ベルサール八重洲 (東京)

点滴療法研究会10周年記念特別セミナー 第4弾 「リオルダンIVCアカデミー」

【講師】 ロナルド・ハニハイキ先生 (リオルダン・クリニック 所長)
トーマス・レヴィ先生 (Memorial Hospital, Colorado Springs)
柳澤 厚生先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)

10月21日(土) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナーI

1月14日(土)「ベーシックセミナーI」参照

10月22日(日) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナーII

4月16日(日)「ベーシックセミナーII」参照

11月19日(日) ベルサール三田 (東京)

【会員限定】高濃度ビタミンC点滴療法 認定医講習会・認定医試験

高濃度ビタミンC点滴療法は日本中に広く普及しました。一方、見よう見まねの自己流手技でビタミンC点滴療法を実施する危険なクリニックも存在します。研究会では、真摯に高濃度ビタミンC点滴療法を学び、正しい方法で患者に提供する為に、高濃度ビタミンC点滴療法認定医(Master of IVC Therapy)制度を設け、マスターズクラブ会員医師の質の保証をしています。本講習でビタミンCの基礎知識、リオルダンIVCプロトコル、他との併用療法など大切な基本・応用技術を学びます。

12月3日(日) スピックサロン・メディカルクリニック (神奈川県鎌倉市)

点滴療法の基本実技講習会(入門編)

8月6日(日)「点滴療法の基本実技講習会(入門編)」参照

協賛企業一覧

- 医療法人博心厚生会 アベ腫瘍内科クリニック
- 有限会社 イホコ
- 株式会社 ウィスマー
- 株式会社 ウェルハート
- 株式会社 MSS
- 協和メデックス 株式会社
- 株式会社 サルベストロールジャパン
- 株式会社 ステムス
- 株式会社 スピック
- 有限会社 ディス・インターナショナル
- 株式会社 デトックス
- 西本貿易株式会社 ナチュメディカ事業グループ
- 日本ダグラスラボラトリーズ株式会社
- 株式会社 ビーアンドエス・コーポレーション
- 株式会社 ビーエス
- 株式会社 First Health Japan
- プレミアライン 株式会社
- 株式会社 分子生理化学研究所
- 一般社団法人 臨床水素治療研究会
- レネロファーマ 株式会社

(五十音順)



飲むビタミンC点滴
リポ-カプセルビタミンC
リポソームビタミンCサプリメント

株式会社スピック 医療事業部
TEL: 0467-23-8161
Mail: med_info@spic.org
(営業時間: 平日10:00~17:00)

- メディカルサプリメントの販売
- 市民医療講座の開催とサポート
- メディカルディレクターの認定と育成
- 自由診療導入の経営指導



点滴療法の効果をより高めるために
生まれた点滴療法研究会
推奨サプリメントシリーズ

医療機関で使用するためにふさわしい
安全で高品質、高配合のサプリメントをご提供します。

お問い合わせ 西本貿易株式会社 ナチュメディカ事業グループ
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング4階
☎0120-814-585 受付9:00~17:00 (土・日・祝日、年末年始を除く)



Salvestrol サルベストロール

点滴療法研究会 柳澤会長 推奨サプリ

- あらゆる癌治療・予防法と併用可。VC点滴療法のサポートにも!
- オーガニック果物抽出物でカラダにやさしい。

お問合せ 株式会社サルベストロールジャパン
TEL: (03) 6450-2406 (平日9:30-17:30)
MAIL: info@salvestrol.co.jp

インターネットからも資料閲覧・購入可。www.salvestrol.co.jp



がん治療における転移と再発 阻止への取り組み

循環腫瘍細胞CTC検査

- がんCTC、CSCに最も殺傷効果があった天然成分、抗がん剤の報告
- 最も効果があった分子標的剤の報告
- 放射線、温熱治療の可否の報告
- 身体に優しい天然成分による治療のプロトコル作成

株式会社デトックス 〒102-0085 東京都千代田区六本木5-18六本木ステートビル1F
Tel.03-5876-4511 Fax.03-3222-5770 http://www.detox.jp



海外医療機器・医薬品の輸入代行

血液オゾン療法 ヒトプラセンタ製剤

ポツリヌス毒素A型製剤、麻酔クリーム、ダイエット薬、脂肪溶解剤、毛髪薬剤、ヒアルロン酸、各種針、ほか多数

TEL:03-5276-6071 FAX:03-5276-6085
E-mail: sales@well-heart.co.jp



~永遠の笑顔をテーマに~
レネロファーマ株式会社

医薬品卸売・医薬品製造販売・医療機器製造 医療機器製造販売

オゾン発生機 basic Plus オゾンバス REFOBATH



株式会社 First Health Japan

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 5-21-105

TEL: 03-5799-7085
FAX: 03-5799-7086

info@fhjapan.co.jp
www.fhjapan.co.jp/

- 天然ホルモン剤
- リポソームサプリメント
- 非侵襲的検査
- 唾液・便・尿・血液
- G6PD 迅速定量検査機器

点滴療法研究会 2016年 年次報告書

発行: 点滴療法研究会事務局

有限会社メディカルリサーチ 21
〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-11-2
RAYHAUS 花房山II 201
TEL: 03-6277-3318 FAX: 03-6277-4004